

平成23年度 第10回 井郷地域会議 会議録

日時：平成24年1月18日（水） 19：00～20：20

場所：猿投コミュニティセンター 第1研修室

出席者：地域会議委員16名（欠席4名）

会長 梅村洋一

委員 安藤 勲 梅村 敏 浦野憲二 大澤鉦之 大橋 行
加藤志津子 木村 駿 小島 満 澤田数衛 柴田和則
新宮敏雄 杉浦靖治 中川 淳 松添萬久 本村ちあき

猿投支所 天野繁和 澤田亜紀 小林晃朗

傍聴人：なし

次第

地域会議会長あいさつ

報告 わくわく事業採択団体訪問の報告について

- 1 地域会議スケジュールについて
- 2 平成24年度わくわく事業の募集要項について
- 3 平成24年度 地域予算提案事業について
「高齢者がより元気に安心して暮らせる事業」

報告

情報交換

事務連絡

議事等（要約）

報告 わくわく事業採択団体訪問の報告について

【天道幸友クラブ】

委員 10/6に訪問した。ストレッチ体操から始め、清掃、草取り、花壇の整備の様子を見た。苗床を広いエリアに葉牡丹が植えられていて周辺への植え替え作業を実施するところで育成状況等を確認した。種から育てるのは大変だった。環境整備としては大きな事業だったと思う。会員相互のコミュニケーションも図っていた。

委員 【ふるさと井上・未来座】

15名程度が作業していた。当日の作業は草刈、擬木の設置が済んだところにチップをまき歩く人の整備をしていた。広く延長の長いところの作業なので大変だったと思う。今後は修繕や草刈の活動は休憩施設の東屋や防犯灯の設置をしたい。次期代表になったら進めていきたい。

委員 【井郷まちづくりの会】

わくわく事業としてふさわしくないのではと感じた。説明ボランティアの説明者の資質向上が必要ではないか。特にしら鬚草、古墳の説明が不十分だった。コースは同じでも地域は変化しているので、毎年参加した記念になるようなことをかんがえてはどうか。

委員 【寄り合い花壇の会】

付近の21世帯の30代～70代の24人が苗の植え付け作業をしていた。ハート型やミッキーマウスの形の花壇にしていた。苗購入時に当初の見込み以上に必要になり、資金的に不足した。種からの育成は非

常に難しく苦勞されたようだった。水やり作業を見て用水から水を運ぶのは比較的よいが、籠川から水を汲んでいたのは大変だったと思う。

【水無瀬川周辺植栽推進事業実行委員会】

委員

22年度に枝下用水沿いに桜を主体として植栽し、それに連動して今年度はイロハモミジを植栽。あわせて桜とモミジの維持管理を実施していた。今後は下草刈り、雑木の伐採などの維持管理や肥料やりや害虫の駆除などについて重要性を認識しあつた。

【下古屋まちづくりの会】

委員

5年の実績のある取り組みで、ありのままの自然を残し、遊歩道、駐車場も完備されていた。地域企業や猿投農林高校と活動を共にし、協力関係を深めていた。

【井郷地区防犯ネットワーク会議】

委員

H18年からまちづくりの会や学校、PTAなどの団体に組織し、スタートした。その後見守り活動や自転車のかごカバーなどの取り組みや青パトの回転灯を4台購入し巡回活動している。会議も隔月で実施し警察官からの井郷地域の犯罪状況などを情報提供してもらい、防犯活動を活発にしている。

1 地域会議スケジュールについて

委員

これまでどおりの第3水曜日とすることで了承。案のとおりで了承。

2 平成24年度わくわく事業の募集要項について

事務局

資料に基づき、変更点等を説明。案のとおりで了承。

①豊田市暴力団排除条例施行に伴いわくわく事業補助金にも同様の規定が盛り込まれ、応募資格・要件の変更

②予算科目早見表の「講師謝礼」について※印部分を追加。

《主な意見》

委員

備品購入費の補助率が9/10だが、足りない分を通常会費を集めていて捻出していると思うが、ボランティアでやっているところは集めていない。そういう団体はどうしているのか。

事務局

昨年度に全市的に見直された経緯があり、高額な備品購入を継続する団体があったり、購入してもすぐに使用されない等の問題もあって全市的な方針として示された。今年度が1年目なので、地域支援課へこのような意見があったことを報告する。

会長

1年経てば他の地域の状況も含め結果が出ると思う。地域で継続していく必要がある場合は補助率9/10が無理であれば要望していけばよい。

3 平成24年度 地域予算提案事業について

(1) 救急医療情報セットについて

事務局

前回の地域会議でいのちのバトンなどの詳細を高齡者部会で検討することになり、その結果について説明。また、包括支援センターとの意

見交換での話も報告。

【いのちのバトン】

委員
事務局

- ・掲載情報については、身障者手帳の有無が必要ではないか。
- ・必要な項目は、消防署にも参考に聞きながら、情報掲載項目を決めていく。

会長

- ・バトンの情報は新しい情報に更新されないといけない。包括支援センターでは年間100人くらいなら対応できるとのことだ。100人を超えたり、対象範囲外の知的障がい者などは、民生委員にお願いする必要がある、民生委員の代表者にも協力してもらえるように話をしておいた。

委員

- ・回覧では十分な周知ができないし、自治区によっては、65歳以上を把握するのは難しいところもあるので、全戸配布するようにしたほうがよい。

会長
委員

- ・大枠としては部会で検討した内容でよいか。
⇒ 全員了承

【(仮)いのちのカード】

会長

- ・カードの名称は部会で重すぎるという意見もあって、「安心カード」にしたいと思うがどうか。

委員
会長

- ⇒ 全員了承

会長

- ・ただし、御船町は先行しているので、しばらくは今のカードを使用し、安心カードが完成したら交換することをお願いしたい。

【共通事項】

会長

- ・次年度の早い時期に自治区と調整すること。自治区ごとに組長会の開催日程などの違いもある。また、包括支援センターや民生委員とも意見交換や情報提供する機会を設けること。

委員
事務局

- ・申込用紙や説明文書などは回収することなども考え、工夫してほしい。
⇒ 次年度に良い方法を検討する。

情報交換

委員

- ・豊田都市交通研究所の自主研究事業の一環で、天道自治区は、走行速度調査の本番を四郷小学校付近の点滅信号のある交差点で実施する。

事務局

- 1月31日 午前10時～ 天道自治区内 四郷小学校そば交差点
- ・いさとスポーツクラブの3世代交流フェスティバルの開催について資料を基に告知。3月24日(土)猿投コミュニティセンターで開催。

事務連絡

事務局

- ・地域会議委員アンケートについて
2月2日までに猿投支所までお願いします。

次回の会議について

2月は休みとし、次回は3月開催。
平成24年3月21日(水)午後7時～
猿投コミュニティセンター 第1研修室
「わくわく事業成果発表会」